生 涯学 講 座

していいのかわからない――」。 そんな人におすすめ つといわれています。 家族以外の人との交流が大切と つ「傾聴」は、認知症の進行を遅らせたり予防に役立 一ケーションの基本であり、信頼関係を築くのに役立 したいのが 「傾聴ボランティア」 です。 人とのコミュ 「自分の時間を社会のために役立てたい。でも、何を

(土)午後

2階会議室

認知症サポートセンター・ねりま 理事 寺田和子氏

のおはなしを傾聴的に聞くボランティアのことで、超

高齢社会の今、需要が高まっています。

今回は福祉ボランティアとして活躍する寺田氏を講

会がない人。「傾聴ボランティア」とは、そんな人々

される高齢者。また一人暮らしのために他者と話す機

対象:一般(中学生以上) :12人(事前申込制)

を聞いたり、

簡単な実技を行います。ご興味のある方

傾聴の意義や心構え、注意点などのお話

師に招いて、

は気軽にご参加ください。

ホームページにて 申込み:小竹図書館カウンター、

203-5995



「心を込めて聴くこと」

※熱中症特別警戒アラートが発出された場合は中止となります。 熱中症警戒アラートが発出された場合も中止の可能性があります。 図書館ホームページ、またはお電話で小竹図書館までお問い合わせください。 熱中症情報は練馬区ホ